


クラスパレット GO! 2024パリシリーズ
「稲葉玲王選手一ひとつよりもふたつ以上の世界」

①主題名から	<p>個性の伸長</p> <p>1、2年 自分の特徴に気が付くこと</p> <p>3、4年 自分の特徴に気が付き、長所を伸ばすこと</p> <p>5、6年 自分の特徴を知って、短所を改め、長所を伸ばすこと</p>
②教材	<p>稲葉玲王選手は、千葉県出身のプロサーファーである。2024年に行われるパリオリンピックの出場が内定している。</p> <p>プロの道は、「一つのことを極める」ことであるが、稲葉選手自身、サーフィンをしたくないときには、「気持ちを切り替えること」が大切だという。また、大切な大会の直前まで眠っているなど、リラックスする大切さの話もしている。</p> <p>自分の道を見つけるためには、「世界」へ出ることで、どんなときでも緊張しないようになることにつながるという。</p> <p>仲間と関わることも大切にしながら、<u>人と違うことや違う世界※1</u>にも目を向けてみるという言葉もある。(他教材、同パリ五輪選手永山選手との関連)</p> <p>夢や目標は、無理に見つけるのではなく、好きなこと、好きになったことが夢につながるという、子どもたちへの力強いメッセージがある。</p> <p>また、この教材に関しては、5年生のしゅうと君(当時、現在6年生)が登場する。子どもたちは、同世代の子どもに共感するという特徴がある。</p> <p>高学年になると、なかなか自分のことをそのまま話すことが憚られる児童もいるだろうが、しゅうと君を手掛かりに、「自分と似ている」、「ここが同じ」ということも表明しやすくなることある。また、彼の課題である「試合の前(大事な時に)<u>緊張※2</u>してしまう」というのも、5、6年生の課題として多く挙げられ、共感しやすく子どもたちが自分を投影しやすいものとなっている。</p> <p style="text-align: right;">(※1、2は他教材、同パリ五輪選手永山選手との関連)</p>
③主題から教材へ	<p>特に、本主題名が低学年から位置づけられた経緯として「グローバル化の進展に伴う価値観の多様さ」「日本の子どもの自己肯定感の低さ」の2点が挙げられる。</p> <p>教材で扱う稲葉選手は、何事にもリラックスして、前向きに取り組む性格であり、教材からも上の2点の課題に対して強力なメッセージを与えてくれるものになっている。</p> <p>授業では、子どもたちの内面にフォーカスしていくことが考えられるが、「自分の好きなこと」を子どもたちに挙げてもらい、稲葉選手の幼少期の体験である「サーフィンが嫌いだったが、続けていれば好きになった」ということや、「好きなことが夢につながる」ことから自分の進むべき道しるべになるものとして期待する。</p>

④フランク

準備・資料 ノート,教材文,練習風景VTR

時間	プラン内容	○児童の発言予想
15	1. 本日のテーマ(価値項目) 自分らしいって?(板書) 2. 稲葉選手を知ろう 2-①出てくる人を知ろう 稲葉選手について、しゅうと君について 2-②映像を視聴しよう 右QRコードから サーフィン体験を見る(3分)  2-③教材文を読もう 教師が読む／児童が読む	○好きなことをする。 ○個性 ○オリンピックについて知らなかった。 ○サーフィンについて知らなかった。 ○自分も「緊張する」ことがある
20	3. 稲葉選手の話から自分をみつめる 発問例※子どもの話から広げる、発問が生まれることもある。 3-① にがてなこと、いやなことがあったら、どうする? 3-② 自分が好きなことはなに? ★その中で、ずっと続けている、続けられそうなこと 3-③自分は好きだけど、相手は嫌いなことは? その逆でもOK。 ★ペアワーク→全体	○自分が読みたい(全文、分担制) <読んだ後> ○意外とリラックスしていてびっくりした ○国語、算数が苦手だから勉強する、あるいは諦めて他のことをする(勉強のこと) ○だれかに相談する。そのまま、自分で抱え込んでしまうかも… ○サッカー、野球(スポーツ)、絵を描く、ピアノ、物作り ○自分は肉が好きだけど、隣の人はそんなに好きでなかった。あんなにおいしいのになぜ? ○隣の人は猫が嫌いだけど、犬が好き。自分も同じだった。
42		
45	4. 今日の授業で思ったこと	○案外、自分には好きなことが多かった。

※児童の発言等により、流れは大きく変わる場合があります。